

生公連署名で 紹介議員要請を

署名をを広げながら、八月の原水禁止世界大会への参加を呼びかけます。

核兵器全面禁止、被爆者援護・連帯をかかげて、被爆地広島・長崎をめざす原水禁止国民平和大行進(同実行委員会が主催)が五月〜八月まで行われ、東海建設支部管内を五月から六月に行進します。五月一日に静岡県に入り、五月三十一日に愛知県へ、六月一日に岐阜県へと引き継がれ、六月八日から一八日には三重県内を行進します。多くの仲間を行進で、原水禁運動を広げましょう。

一九四五年八月の原爆投下から今年で六八年。「核兵器のない世界」の実現を約束した核不拡散条約再検討会議の次回会合まで二年となり、その第二回準備委員会は、七〇カ国が支持した核兵器の非人道性に関する共同声明が出されました。残虐で非人道的兵器・核兵器の全面廃絶を求める国際世論が高まっています。実行委員会は、「核兵器のない世界」の輝く日本へを合言葉に、「みんなの願いあふれる大行進をつくらう」と呼びかけています。

核兵器廃絶へ！一緒に

=2013年 国民平和行進に参加を=



平和行進では、核兵器禁止条約の交渉開始を求め、「核兵器全面禁止

のアピール」署名をを広げながら、八月の原水禁止世界大会への参加を呼びかけます。自治体訪問を重視し、署名への協力、世界大会への賛同・参加、原爆展の開催などを要請して回ります。また、原発ゼロ、放射能被害の一掃とエネルギー政策の転換、米軍欠陥機オスプレイの配備撤回、米軍基地の撤去など、平和で安心できる暮らしを求める声に連帯します。

2013年 国民平和行進

日程・コース(第一次)



中部地域協議会で統一リリーフ旗をつなぐ
国土交通労組では、今年も統一リリーフ旗を東京から広島まで引継ながら行進することを確認しています。静岡・愛知・岐阜・三重県協で各日程毎の責任分會を決定し、通し行進旗の掲揚と写真や感想の記録等をまとめ、本部・支部へ情報提供することとしています。

退職しても全建労

=全建労退職者の会全国連合会総会を開催=

ス々々に全国の仲間が集い、語りました

全建労退職者の会全国連合会は、四月二一〜二二日の二日間、宮城県において、交流会と総会を実施しました。全国各支部から退職者と現役三六名が参加し、防災体制に関する議論と、「建退連」の組織活動について活発な議論がなされました。

東海から原さん、小崎さん、渡瀬さん、横山さんが参加

三六名が交流会と総会に参加しました。

四月二一日、宮城県仙台 東海建設支部からは現役者(会連合会)の仲間、小崎さん、渡瀬さん、横山さん(五名)が参加し、他地本退職者の会の仲間と懇親を深めました。



東海地本退職者の会の面々、小崎さん、横山さん、原さん

二一日は、一二時三〇分に集合して、バスに乗車、東日本大震災から二年が経過した被災地の現状を視察し、被災状況の生々しさを目の当たりにしました。特に、大川小学校(右下写真)では、児童

七五名、教員一名が小学校近くの高台に避難したものの予想を超える大きな津波に襲われ奇跡的に児童・教員一人づつが助かったものの、残る児童・教員は犠牲になりました。



写真は大川小学校：渡り廊下が崩壊、右手に山があるが、児童に登れるか？

総会では、防災論と活動交流 機関紙で仲間の輪を広げる

二日目の建退連総会では、西田事務局長が「自然災害と人類の共存」を」と題して防災論について議論を深めました。防災官庁の退職者として、在職中の経験も交えながら、議論を深めました。また、事務局からの活動報告を受け、各地本退職者の会から、それぞれの地域での活動報告がなされました。

は、検証が行われているそうです。

た。各会が発行する機関紙では懐かしい顔が写っており、昔話や近況報告に話題が広がりました。

新たな役員には、西田会長と渡辺事務局長を選出、今後の活動を進めていくことが確認され、各組織の近況報告等のためにも、全国ニュースの発行を求める意見が強く出され、総会を締めくくりました。